

四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会  
**地域オフセット・クレジット普及拡大事業中間報告書**

---

2013年3月1日

一般社団法人高知県山林協会

## 目次

|                           |           |
|---------------------------|-----------|
| <b>1. 事業の概要</b> .....     | <b>1</b>  |
| 1.1 事業の名称.....            | 1         |
| 1.2 協議会の概要.....           | 1         |
| 1.3 事業概要.....             | 1         |
| 1.4 実施体制.....             | 3         |
| 1.5 実施工程.....             | 4         |
| <b>2. 事業報告</b> .....      | <b>5</b>  |
| 2.1 協議会開催状況.....          | 5         |
| 2.2 制度文書.....             | 5         |
| 2.3 排出量・クレジット等管理システム..... | 5         |
| 2.4 広報ツール.....            | 6         |
| 2.5 事業報告.....             | 6         |
| 2.6 マスコミからの取材の有無.....     | 10        |
| <b>3. 事業の総括</b> .....     | <b>11</b> |
| <b>4. 今後の展望</b> .....     | <b>14</b> |
| <b>参考資料</b> .....         | <b>15</b> |

## 1. 事業の概要

### 1.1 事業の名称

地域オフセット・クレジット普及拡大事業

### 1.2 協議会の概要

表 1-1 協議会の概要

|            |   |
|------------|---|
| (1)協議会の名称  | 四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会<br>分科会:四国4県連携オフセット・クレジット活用連携協議会  |
| (2)地方公共団体  | 高知県、愛媛県、徳島県、香川県、高知市、津野町、中土佐町、いの町、大豊町、仁淀川町、土佐町、三原村、東温市   |
| (3)その他構成機関 | 徳島大学、徳島県地球温暖化防止活動推進センター、徳島カーボン・オフセット推進協議会、四万十町森林組合、久万広域森林組合、(株)ヤマサ、(株)アドバンテック、(株)土佐龍、ニッポン高度紙工業(株)、(有)武政建設、(株)四電技術コンサルタント、(株)ファクトデザイン事務所、カシオ計算機(株)、(株)ケイエスエー・ライフガード、(公財)高知県産業振興センター、前田工織(株)、マイクライメイトジャパン(株)、GARRISON<br>事務局:高知県オフセット・クレジット認証センター |
| (4)設立年月日   | 平成24年9月21日  |

### 1.3 事業概要

#### ① カーボン・オフセットプラットフォーム HP のシステム構築

「四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会」を設置し多くの意見を取り入れたうえで、四国内のオフセット・クレジット活用プラットフォームを立ち上げ、クレジット活用の促進を図る。カーボン・オフセットの地域版プラットフォームが構築されることで、創出者、利用者一体となった活性化が期待される。

#### ② 広域 J-VER 制度構築連携研究

平成 25 年度以降は、現行の J-VER 制度と国内クレジット制度が統合され「新クレジット制度」としてスタートする予定であり、現在 1200 件を超えている両制度の案件数を運営するためには、都道府県 J-VER 制度のような地方の制度を充実させていくことが必要である。このため、「四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会」に分科会として「四国 4 県連携オフセット・クレジット活用連携協議会」を設置し、現在高知県が単独で運営している高知県 J-VER 制度（森林吸収）を地域的に広域連携する。

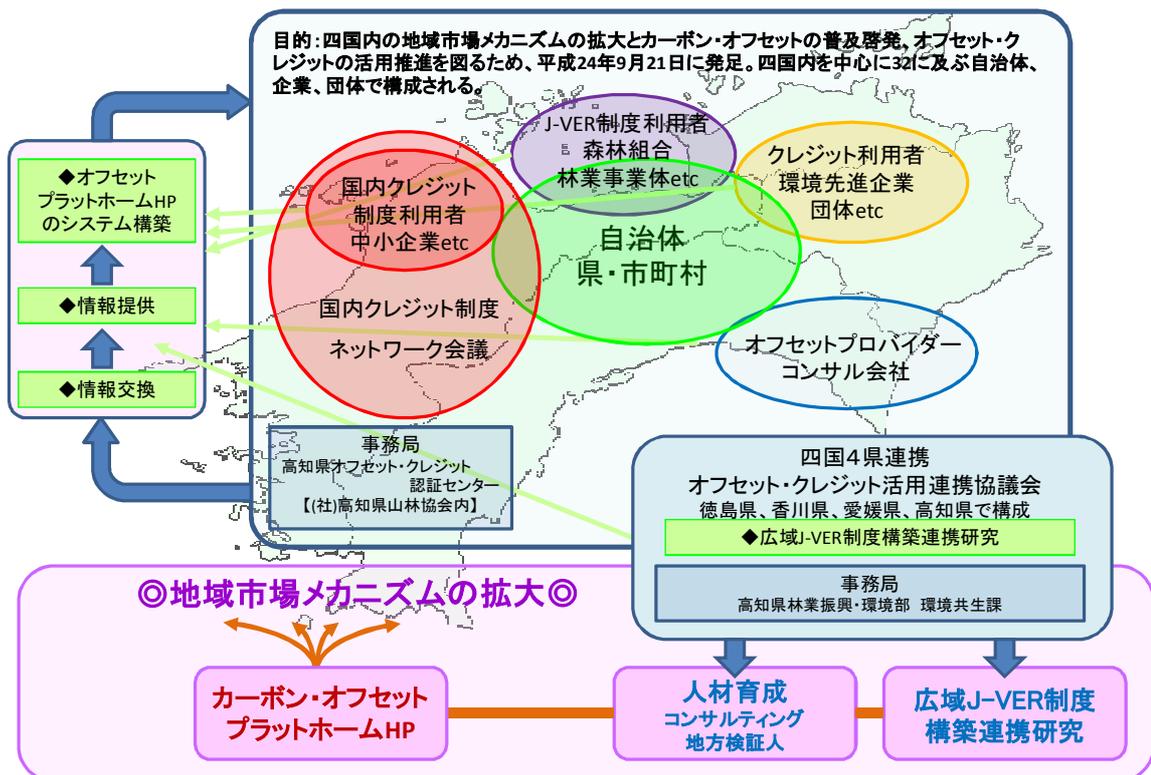
手法としては、先行事例としての高知県 J-VER 制度のノウハウを生かして、各地方自治体の独自性と体制を維持しつつ新制度で広域化を進めることとし、広域 J-VER 制度の全国モデルとしてスタートさせることとする。また、当面の間は、高知県 J-VER 制度の事務実績のある高知県オフセット・クレジット認証センターが主体となって各県の都道府県

J-VER 制度における事務を担っていくこととする予定である。

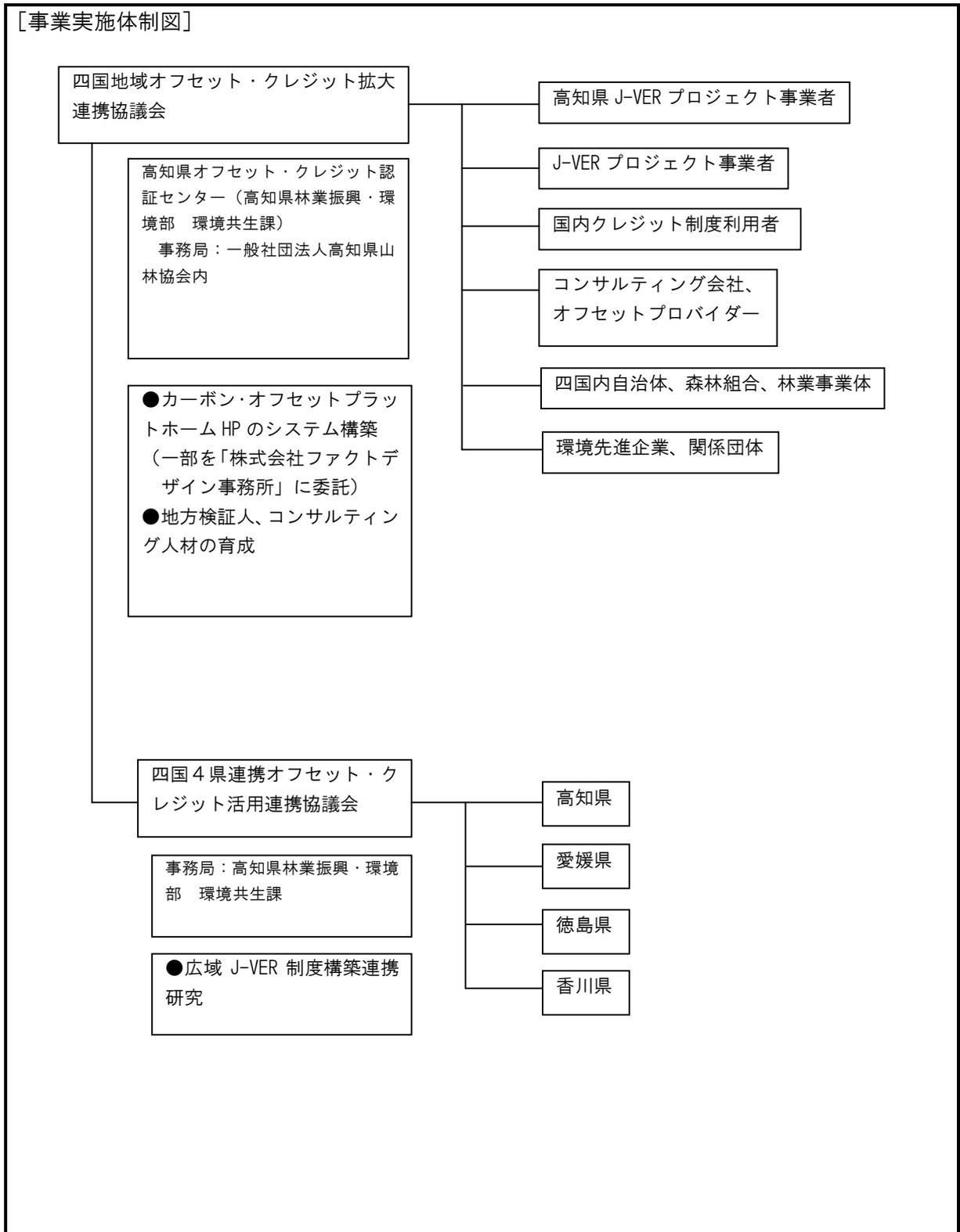
### ③ 地方検証人、コンサルティング人材の育成

四国内に第三者検証機関に属する地方検証人を育成することで、経費の節減とプロジェクトの円滑な遂行を図っていく。また、プロジェクト計画と実施についてのコンサルティングを実施できる人材も併せて育成する。

## 地域オフセット・クレジット普及拡大事業の概要



## 1.4 実施体制



1.5 実施工程

| 検討・実施項目 |                |       | 平成 24 年度 |    |     |     |     |    |    |
|---------|----------------|-------|----------|----|-----|-----|-----|----|----|
| 大項目     | 中項目            | 小項目   | 8月       | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| システム構築  | システム構築         | (計画時) | →        |    |     |     |     |    | →  |
|         |                | (報告時) |          |    |     |     |     |    |    |
| 協議会     | 協議会            | (計画時) | ①        |    | ②   | ③   |     | ④  |    |
|         |                | (報告時) |          | ①  |     | ②   |     | ③  |    |
|         | 分科会            | (計画時) | ①        |    | ②   | ③   |     | ④  |    |
|         |                | (報告時) | ①        |    | ②   | ③   |     |    |    |
| 情報収集    | 愛媛、神奈川         | (計画時) |          | ○  |     |     |     |    |    |
|         |                | (報告時) |          |    | ○   |     |     | ○  |    |
|         | 新潟             | (計画時) |          |    |     |     |     | ○  |    |
|         |                | (報告時) |          |    |     |     |     | ○  |    |
| 人材育成    | 地方検証人育成        | (計画時) |          | ○  |     |     |     |    |    |
|         |                | (報告時) |          |    | ○   |     |     |    |    |
|         | バリテ-タ、バリファイ-研修 | (計画時) |          |    |     |     | ○   |    |    |
|         |                | (報告時) |          |    | ○   |     | ○   |    |    |
|         | コンサルティング人材育成   | (計画時) |          |    |     | ①   |     | ②  |    |
|         |                | (報告時) |          |    |     | ① ② |     |    |    |
| 報告      | 報告             | (計画時) |          | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  |
|         |                | (報告時) |          | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  |
|         | 報告書作成          | (計画時) |          |    |     |     |     |    | →  |
|         |                | (報告時) |          |    |     |     |     |    | →  |

## 2. 事業報告

### 2.1 協議会開催状況

表 2-1 協議会開催状況

| 回   | 年月日               | 参加者数 | 主要議題  |
|-----|-------------------|------|---|
| 第1回 | 平成 24 年 9 月 21 日  | 36 名 | 1.協議会設立の背景と意義<br>2.国内クレジット制度の概要について<br>3.オフセット・クレジット(J-VER)制度について<br>4.高知県 J-VER 制度について<br>5.協議会設立と活動内容<br>6.カーボン・オフセットの推進にあたって<br>7.プラットフォーム HP について |
| 第2回 | 平成 24 年 11 月 29 日 | 36 名 | 1.プラットフォーム HP のシステム<br>2.広域 J-VER 制度<br>3.地方検証人、コンサルティング人材の育成   |
| 第3回 | 平成 25 年 1 月 28 日  | 28 名 | 1.プラットフォーム HP の作成状況について<br>2.プラットフォーム HP における各構成団体等の役割と位置付け<br>3.新クレジット制度最新情報について   |

### 2.2 制度文書

表 2-2 制度文書一覧

| 文書名                      | 内容   |
|--------------------------|--|
| 四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会規定 | 標記協議会の名称、目的、体制、暫定設置期間、入退会、顧問及びアドバイザー、分科会、予算・経費負担、制定・改廃について規定。<br>平成 24 年 9 月 21 日から施行。 |

### 2.3 排出量・クレジット等管理システム

表 2-3 排出量クレジット等管理システム

| システム名       | 管理する対象            | 開発事業者           | 内容  |
|-------------|-------------------|-----------------|---|
| プラットフォーム HP | クレジット情報、CO2 排出量算定 | 株式会社ファクトデザイン事務所 | カーボン・オフセットの地域版プラットフォーム企業・個人向けクレジット販売、小口販売 |

## 2.4 広報ツール

表 2-4 広報ツール一覧

| 区分               | 対象    | 作成部数    | 配布方法                                | 内容   |
|------------------|-------|---------|-------------------------------------|--|
| J-VER パンフレット     | 市民、企業 | 500 部   | エコプロダクツ2012、カーボン・マーケット EXPO2013 で配布 | J-VER プロジェクトの紹介  |
| 高知県 J-VER パンフレット | 市民、企業 | 500 枚   | エコプロダクツ2012、カーボン・マーケット EXPO2013 で配布 | 高知県 J-VER プロジェクトの紹介  |
| J-VER 販売促進ちらし    | 市民    | 500 枚   | エコプロダクツ2012、カーボン・マーケット EXPO2013 で配布 | 一般向けカーボン・オフセットパンフレット   |
| クリアファイル          | 市民、企業 | 2,000 枚 | カーボン・マーケット EXPO2013、販売促進活動の中で配布     | 協議会 HP ロゴマーク入り、カーボン・オフセットを推進するクリアファイル  |
| ホームページ           | 市民、企業 | —       | 拡大連携協議会ホームページ、その他協議会構成機関にリンク        | プロジェクト情報、クレジット情報、カーボン・オフセットに関する情報、協議会に関する情報  |
| Greenz.jp        | 市民    | —       | 記事広告、バナー広告の掲載                       | 14 万人/月が利用するウェブマガジンに「プラットホーム HP」「四国カーボン・オフセット市場」に対する思い等を記事広告として掲載するとともに、クレジット販売促進のためにバナー広告を作成、掲載 |

## 2.5 事業報告

表 2-5 カーボン・オフセットプラットホーム HP のシステム構築事業一覧

| 区分         | 研修会名           | 年月日              | 参加した人数 | 内容                            |
|------------|----------------|------------------|--------|-------------------------------|
| プラットホーム HP | プラットホーム HP 検討会 | 平成 24 年 8 月 22 日 | 4 名    | ・全体の方向性<br>・スケジュールについて        |
| プラットホーム HP | プラットホーム HP 検討会 | 平成 24 年 8 月 22 日 | 4 名    | ・株式会社ファクトデザイン事務所との打ち合わせ内容について |

|             |                 |                   |     |  |
|-------------|-----------------|-------------------|-----|--|
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 8 月 28 日  | 6 名 | ・ サイトマップについて   |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 9 月 12 日  | 7 名 | ・ サイトマップについて<br>・ トップページイメージについて                             |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 9 月 18 日  | 7 名 | ・ トップページのイメージ（デザイン）について                                      |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 9 月 20 日  | 7 名 | ・ トップページについて<br>・ 協議会について                                    |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 10 月 24 日 | 3 名 | ・ 進捗確認<br>・ 創出者記入フォーム<br>・ サイト名<br>・ その他のページ<br>・ 今後の予定について  |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 10 月 29 日 | 5 名 | ・ 10 月 24 日の打ち合わせ内容について                                      |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 11 月 2 日  | 3 名 | ・ 創出者フォームの内容<br>・ カートについて                                    |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 11 月 22 日 | 4 名 | ・ 進捗確認<br>・ 協議会（11/29）について                                   |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 12 月 10 日 | 4 名 | ・ HP イラスト資料の確認について   |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 12 月 18 日 | 4 名 | ・ 進捗確認<br>・ CO2 排出量算定方法について                                  |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 24 年 12 月 18 日 | 4 名 | ・ 進捗確認について   |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 25 年 1 月 24 日  | 4 名 | ・ 進捗報告<br>・ ページ細部の確認<br>・ 広告展開<br>・ 工期延期の検討<br>・ 協議会での説明内容検討 |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 25 年 1 月 28 日  | 8 名 | ・ カート<br>・ 維持管理<br>・ サイトの SEO 対策について                         |
| プラットフォーム HP | プラットフォーム HP 検討会 | 平成 25 年 1 月 30 日  | 6 名 | ・ ページ細部のチェック、確認  |

表 2-6 広域 J-VER 制度構築連携研究事業一覧

| 区分                | 研修会名                               | 年月日               | 参加した人数 | 内容  |
|-------------------|------------------------------------|-------------------|--------|---|
| 広域 J-VER 制度構築連携研究 | 第 1 回 四国 4 県連携オフセット・クレジット活用連携協議会出席 | 平成 24 年 8 月 21 日  | 10 名   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会設立</li> <li>・各県における J-VER プロジェクトの取り組み</li> <li>・各県におけるカーボン・オフセットの取り組み</li> <li>・地域オフセット・クレジット普及拡大事業について</li> <li>・その他</li> </ul>                               |
| 広域 J-VER 制度構築連携研究 | 第 2 回 四国 4 県連携オフセット・クレジット活用連携協議会出席 | 平成 24 年 10 月 17 日 | 10 名   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新クレジット制度について</li> <li>・四国における広域 J-VER 制度について</li> <li>・HP フォームの紹介</li> <li>・研修会及び情報収集について</li> <li>・来年度以降の四県連携施策について</li> <li>・その他</li> </ul>                     |
| 広域 J-VER 制度構築連携研究 | 第 3 回 四国 4 県連携オフセット・クレジット活用連携協議会出席 | 平成 24 年 11 月 29 日 | 8 名    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新クレジット制度における J-VER 制度の位置づけについて</li> <li>・平成 25 年度四国 4 県連携施策について</li> <li>・新潟県視察及び環境省への政策提言について</li> <li>・その他</li> </ul>   |
| 広域 J-VER 制度構築連携研究 | 四国 4 県連携オフセット・クレジット活用連携協議会視察       | 平成 25 年 1 月 9 日   | 14 名   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県カーボン・オフセット制度</li> <li>・新潟県産材活用施設見学</li> <li>・「阿賀悠久の森間伐プロジェクト」の取り組み説明</li> <li>・木質ペレット燃料製造工場見学</li> <li>・木質ペレット燃料活用施設建設現場見学</li> <li>・木質ペレット燃料活用施設見学</li> </ul> |

|                          |  |            |     |   |
|--------------------------|--|------------|-----|---|
| 広域 J-VER<br>制度構築連<br>携研究 | 四国4県連携<br>オフセット・<br>クレジット活<br>用連携協議会<br>中間報告、プ<br>ログラム認証<br>制度支援 | 平成25年1月10日 | 12名 | ・四国4県連携オフセ<br>ット・クレジット活用連携協<br>議会中間報告<br>・プログラム認証制度支援<br>要請 |
|--------------------------|--|------------|-----|---|

表 2-7 人材育成事業一覧

| 区分    | 研修会名   | 年月日         | 参加させ<br>た人数 | 内容   |
|-------|--|-------------|-------------|--|
| 検証人育成 | J-VER 制度に<br>おける検証機<br>関等の実践講<br>座（排出削減<br>PJ 解説編） | 平成24年10月23日 | 1名<br>総数40名 | ・ISOの基礎知識と検証人<br>の力量・心構え<br>・J-VER 制度概要と妥当性<br>確認・検証 ガイドライン<br>(Ver. 2.1) の解説<br>・方法論別審査ポイント<br>・演習問題（仮想事例）に<br>よるケーススタディ<br>・質疑応答       |
| 検証人育成 | J-VER 制度に<br>おける検証機<br>関等の実践講<br>座（森林 PJ<br>解説編）   | 平成24年10月29日 | 1名          | ・ISOの基礎知識と検証人<br>の力量・心構え<br>・J-VER 制度概要と妥当性<br>確認・検証 ガイドライン<br>(Ver. 2.1) の解説<br>・森林方法論の審査ポイン<br>ト<br>・演習問題（仮想事例）に<br>よるケーススタディ<br>・質疑応答 |
| 検証人育成 | カーボン・オ<br>フセット制度<br>における検証<br>機関等の実践<br>講座         | 平成24年10月30日 | 1名          | ・ISOの基礎知識と検証人<br>の力量・心構え<br>・カーボン・オフセット制<br>度（オフセット、ニュート<br>ラルの認証基準）の解説<br>・カーボン・オフセット、<br>カーボン・ニュートラルの<br>審査ポイント<br>・質疑応答               |
| 検証人育成 | J-VER 制度に<br>おける検証機<br>関等の実践講                      | 平成24年12月6日  | 1名          | ・森林生態系の解説<br>・モニタリングプロットの<br>設計と計測（機器の使用方  |

|              |                             |             |    |   |
|--------------|-----------------------------|-------------|----|---|
|              | 座（森林 PJ 実践編；暖温帯林）           |             |    | 法と留意点）<br>・間伐作業実習<br>・質疑応答  |
| コンサルティング人材育成 | カーボン・オフセットのプロバイダー講座（第4回 大阪） | 平成24年11月28日 | 2名 | ・カーボン・オフセットクレジット（J-V E R）制度と新クレジット制度の概要<br>・カーボン・オフセット制度の概要説明<br>・カーボン・オフセットプロバイダー実践講座<br>・事例紹介 |

## 2.6 マスコミからの取材の有無

表 2-8 取材実績一覧

| 媒体    | 取材を受けた日     | 取材を受けた者               | 取材場所               | 放送日・発刊日     |
|-------|-------------|-----------------------|--------------------|-------------|
| 高知新聞  | 平成24年11月29日 | 高知県                   | 全国オフセットマッチングイン高知会場 | 平成24年11月30日 |
| テレビ高知 | 平成24年11月29日 | 高知県                   | 全国オフセットマッチングイン高知会場 | 平成25年1月6日   |
| 高知新聞  | 平成24年12月14日 | 高知県<br>四万十<br>ひのきグループ | エコプロダクツ2012<br>会場  | 平成24年12月15日 |

### 3. 事業の総括

表 3-1 事業実施結果

| 視 点               | 結 果 ・ 内 容  |
|-------------------|--|
| (1)モデル事業の成果       |  |
| ①目標設定と達成度         | <p>・カーボン・オフセットプラットフォーム HP のシステム構築<br/>           平成 25 年 1 月末を目処に完成を目指して取り組み、大枠については完成した。なお、システム上のコンセプトである「いつでもどこでも誰でもがクレジット購入できる」ためのフレーム形成については、初めての取組であることから最終段階のプロバイダーとの調整、ウェブページ細部の構築のために時間を必要としているのが現状である。</p> <p>・広域 J-VER 制度構築連携研究<br/>           J-VER 制度について、4 県で連携を図るべく検討している。3 回の協議会をとおして、四国内の複数県で「四国 J-VER 制度」を創設するべく調整しているところであるが、地方自治体の縦割りのハードルがあること、新クレジット制度の方向性が明確化されていないことから年度内の創設は困難である。しかし、平成 25 年度以降のプログラム認証制度についての具体的方向性が明確化すれば、早急に制度創設へ向けて前進できる状態である。</p> <p>・地方検証人、コンサルティング人材の育成<br/>           地方検証人の育成については、四国内に第三者検証機関に属する地方検証人を育成することで、経費の節減とプロジェクトの円滑な遂行を図っていくことを目的として、「J-VER 制度における検証機関等の実践講座」、「カーボン・オフセット制度における検証機関等の実践講座」に参加させた。この結果、高知県内に 1 名の GHG プロジェクト審査検証人が育成された。</p> <p>コンサルティング人材の育成については、プロジェクト計画と実施についてコンサルティングを実施できる人材等を育成することを目的として、「カーボン・オフセットのプロバイダー講座」に参加させ、高知県内に近々オフセットプロバイダーが開業する予定である。また、当協議会に参加している徳島県の企業がオフセットプロバイダー事業に参入する等の成果があった。</p> |
| ②温室効果ガスの削減効果      | —  |
| ③消費電力及び消費電力量の削減効果 | —  |
| ④採択金額に対する費用対効果    | <p>定量的な費用対効果については明示することはできないが、プログラム認証制度の広域化について複数県の認識が統一されたこと、プラットフォーム HP における新たなクレジット</p>   |

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | 販売へ向けて先進事例となりうることを成果としたい。   |
| ⑤運営コスト              | <p>HP 担当として派遣会社から雇用するとともに、担当者間の役割分担を明確にすることで、少人数で効率化を図る体制を整備した。</p> <p>協議会開催においては、外部講師に頼らず、国内で情報を収集し、事務局で対応するように努めた。</p> <p>印刷製本については、少量で印刷依頼せず、500 部単位で発注することで単価を抑えるよう配慮した。</p>  |
| <b>(2) モデル事業の評価</b> |   |
| ①先進性・独自性            | <p>全国に先駆けて、都道府県 J-VER 制度の広域連携による「広域 J-VER 制度」の先進的モデル形成の可能性について検討した。</p> <p>カーボン・オフセットの地産地消から地産外商までの広範囲にわたる地域版プラットフォームの構築については、現在作成中ではあるが、最終的には四国地域の J-VER、高知県 J-VER のみならず国内クレジットも含めてネット上でクレジット売買を可能とするシステムとして、一般消費者を対象とした小口販売を中心に市場形成していく予定である。</p>                     |
| ② 広い対象者の設定          | <p>協議会の構成事業者は、四国地域の J-VER プロジェクト事業者、高知県 J-VER プロジェクト事業者、クレジット活用者、国内クレジット制度利用者、コンサルティング会社、オフセットプロバイダー、企業、関係団体である。クレジット活用者は全国を対象としている。</p> <p>国内クレジット制度利用者については、四国経済産業局の意向により新クレジット制度の詳細が固まり次第、入会の見込みである。</p> <p>また、プラットフォーム HP による販売対象は、あらゆる年齢層の国民（一般消費者）、企業を想定している。</p> |
| ③取り組みやすさ            | <p>プラットフォーム HP のコンセプトは、「いつでもどこでも誰でもが購入出来る」ことをコンセプトとしている。ワンクリックで簡単にクレジットを購入することが出来、カーボン・オフセット商品を手に入れることができる。</p>   |

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>④対象者からの評価</p> | <p>プラットフォーム HP については、協議会参加事業者から好評価を得ている。</p> <p>検証人育成では、1 名が 4 回の実践講座に参加し、四国内で活躍できる GHG プロジェクト審査検証人が育成されており、プロジェクト事業者からの期待の声も多い。</p> <p>コンサルティング人材育成では、2 名が研修会に参加した。それぞれ「売る人づくり」「売る仕組みづくり」が重要であること、プロバイダー適正人材教育の重要性、検証人やプロバイダー企業を地方に増やす試みが必須であること等を学び、オフセット・プロバイダーとしての参入検討が前進しただけでなく、四国内プロジェクト事業者からの期待の声も大きい。</p>  |
| <p>⑤課題・問題点等</p>  | <p>運営面では、多くの事業者が協議会に参加することで、多角的で多様な意見がある反面、調整が難しい面がある。現在、会費、協賛金を徴収していないため、今後の運営費用捻出が課題となっている。</p> <p>事業実施においては、プラットフォーム HP では、HP 製作会社がカーボン・オフセットやオフセット・クレジットを理解するのに時間を要し、業務遂行に大きく影響した。また、オフセット・プロバイダーとの調整に時間を要した。なお、今後この HP をより多くの方々に知っていただくためのメディア活用も課題となっている。</p> <p>広域 J-VER 制度構築連携研究では、四国内の複数県で「四国 J-VER 制度」を創設するべく調整しているところであるが、地方自治体の縦割りのハードルがあることが課題となっているが、平成 25 年度以降のプログラム認証制度についての具体的方向性が明確化すれば、早急に制度創設へ向けて前進できる。</p> <p>カーボン・オフセットのシステム構築については、国内の大きな課題であることから、短期間の事業期間で多くの実績を出すことは困難であり、複数年にわたる助成を希望したい。</p> |

## 4. 今後の展望

### ① 継続可能性

本事業及び協議会は、平成 22 年 4 月から社団法人高知県山林協会内に設置されている高知県オフセット・クレジット認証センター(以下「県認証センター」という。)に事務局が設置されている。県認証センターの運営は、高知県からの委託業務(随意契約)により運営されており、次年度以降も継続される予定となっている。また、平成 25 年 4 月から新クレジット制度が創設される予定のなか、高知県 J-VER 制度についても新制度として継続拡大される方向性であることから、本事業の活動は継続されるといえる。また、オフセット・クレジットの普及、利用を拡大するため、多くのプロジェクト事業者や全国のクレジット活用企業に賛同できる体制を整備し、入会を勧誘していくこととする。このように多くの構成員による協議会を運営することで、3 年後にはクレジットの需要供給バランスがとれる状況を目標とする。

### ② 他事業との連携可能性

カルビー株式会社カルネコ事業部とのクレジット販売におけるシステム連携を調整中であるほか、関西広域連合との連携についても調整中である。

### ③ 波及可能性

本事業の取組を発展することで四国地域内の市場を形成させるだけでなく、全国に先駆けた先進事例として多くの地域に展開できる模範となる取組としたい。

## 参考資料

### 8-9月

- (1) 第1回 四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会：資料一式、議事録概要

### 11月

- (2) 第2回 四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会：資料一式、議事録概要

### 12月

- (3) パンフレット作成：J-VER パンフレット、県 J-VER パンフレット、販売促進パンフレット

### 1月

- (4) 第3回 四国地域オフセット・クレジット拡大連携協議会：資料一式、議事概要  
(5) クリアファイル作成：クリアファイル

### 2月

- (6) プラットホームホームページ：主なページ  
(7) greenz.jp：記事広告、バナー